

未来の地域政策を“志考”する
自治体職員ゼミ

「みらいゼミ」 2018プレゼミ

雲南市の協働のまちづくり
～市民との対話による政策形成～

平成28年7月2日
島根県 雲南市
（政官立連携地域振興課）

参加無料

他市のコピーや国策のあてはめではない、いま求められる政策力

5/26 SAT
13:30-16:30
(受付開始 13:00)

会場：龍谷大学深草キャンパス 紫光館4階401講義室
参加費：無料

「聴く」を重ねて政策課題の実像に近づき、政策を組み立てる政策力をつける。

「みらいゼミ」は、多様な主体と連携して地域課題の解決に取り組む力を特に「聴く力」に着目して伸ばすプログラムです。2013年にスタートし、今回で5期目を迎えます。

今年度も「みらいゼミ」本ゼミの開講に先立ち、「みらいゼミ」の学びを実際の修了生と共に体験する無料の公開企画「プレゼミ」を開講いたします。

「プレゼミ」は「みらいゼミ」で本格的に学ぶことについて迷っておられる方、一度プログラムの雰囲気を感じてみたい方におすすめの企画です。

「プレゼミ」Time Table

13:30～14:30	地方自治に関する講演会(テーマ未定) 福嶋浩彦(中央学院大学社会システム研究所教授)
14:30～15:00	トークセッション 福嶋浩彦(中央学院大学社会システム研究所教授) 徳永眞一(地方独立行政法人市立大津市民病院法人事務局次長) 土山希美枝(龍谷大学政策学部教授)
15:15～16:30	トークセッションを踏まえて参加者の意見交換
17:00～19:00	懇親会(会費4,000円程度) ※希望者のみ

「プレゼミ」申込方法

1. 申込専用WEBサイト：<https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/miraizemi201801/>
にアクセスし、必要事項を入力の上、お申し込みください。

2. 定員：30名(先着順)

3. 申込期間：2018年4月20日(金)～2018年5月21日(月)

4. お問い合わせ先：〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学エクステンションセンター



「みらいゼミ」本ゼミ第5期生募集決定(2018年4月募集開始)

「みらいゼミ」は、多様な主体と連携して地域課題の解決に取り組む力を、「聴く力」に着目して伸ばすプログラムです。5期目となる今期は以下のプログラムを実施予定です。

「聴く」を重ねて政策課題の実像に近づき、政策を組み立てる政策力を身に付ける。

プログラム (全7講)

本ゼミは全7講、全日程参加を原則として開講します。(内容は予定です)

第1講	6/16(sat) 13:00~17:00	オリエンテーション、講義：課題を現場から「聴く」ということ
第2講	7/7(sat)-8(sun)	実践演習
第3講	合宿	「聴く」を政策に反映させるシステム 場所：南山城村
第4講	7/21(sat) 10:00~16:00	「聴く」ことから課題の構造を明らかにする
第5講	8/25(sat) 10:00~16:00	固有課題調査(中間報告)
第6講	9/8(sat) 10:00~16:00	固有課題調査(最終報告に向けたアドバイス)
第7講	10/6(sat) 10:00~16:00	グランドフィナーレ 最終報告会

◆自治体首長からのメッセージ◆

みらいゼミに参加し、自らが「聴く力」を身につけ、地域課題の解決に取り組む職員の誕生に大きな期待をしております。

精華町長 木村 要さん

◆担当講師・ゼミ長・チューター(予定)◆

講師 ▶ 土山 希美枝(龍谷大学 政策学部教授)
深尾 昌峰(龍谷大学 政策学部教授)

ゼミ長 ▶ 徳永 眞一(地方独立行政法人市立大津市民病院
法人事務局次長)

上記の他、行政職に携わるチューターが参加者のみなさんにとって実り多き研修となるようサポートいたします。

受講者の声

このプログラムは「困っている人は誰か」、「本当の課題は何か」「なぜそれが課題なのか」じっくり考え、対話する時間を与えてくれます。4ヶ月間は長いようであつという間に過ぎ、めまぐるしく夏が終わった気がします。

掘り下げるテーマは人それぞれで、私は自分の業務に沿ったテーマを持ち、日々の仕事をこれからどう進めていくべきかを考えることが出来ました。講師、チューター、参加者の方々に意見を貰えとても刺激になりました。

プログラムを終了したからと言って、きっと答えは簡単には出ないし、正解自体ないんだと思いますが、これからの自分の将来、地域の未来をつかっていくのにマイルストーンとなるであろう経験をさせて頂けたと思っています。地域や自分自身をめぐる状況は常に変化して行きますが、その変化をよりプラスの方向へ繋げるマインドを、みらいゼミではじっくりと磨けますよ！

南山城村役場 むらづくり推進課
荒木 聖子 様

「自分ががんばってやっていることは、きっと誰かのためになっているはず・・・」誰もがそう思って日々仕事をしているのではないのでしょうか。

しかし、実はそうとは限らないということに気づかせてくれたのが、この「みらいゼミ」でした。

自分の視点でしか物事を見ていない時には見えていなかったことに対して、この「みらいゼミ」で他の参加者メンバーと語り合い、全く違った角度から見ることによって、客観的な視点で見ることができるようになりました。

自ら参加しようという志の高いメンバーのゼミだからこそできる「自己改革」にぜひ挑戦を！

大津市役所 福祉子ども部幼児政策課
木村英子 様

「自分は市民のニーズを考えながら仕事をしている。」公務員であれば、誰もがそう思っているのではないのでしょうか。私もそう思っていました、「みらいゼミ」を受講して、自分がニーズを探ることの本質を分かっていたことに気付かされました。

「困っている人は誰か?」「困っていると決めつけていないか?」「困りごとは別にあるのではないか?」まずは、考えることが大切です。でも、それだけでは不十分です。当事者やその周辺の人などの対話を通じてでなければ気づけないことがたくさんあります。

本ゼミは、参加メンバーとの語り合いや実践によって、そのことを体感させてくれます。受講された方には、必ず新たな気づきがあるはずです。

京都市役所 総合政策室
山下比佐暢 様